

祝 全国大会出場!



第13回日本学校合奏コンクール2024全国大会
ソロ&アンサンブルコンテスト
アンサンブル部門 ヴィブラフォン・マリンバ二重奏 優秀賞 吹奏楽部



第58回全国野生生物保護活動発表大会
環境大臣賞 自然科学部



第76回岡崎市民駅伝競走大会



校内書き初め大会



東海中新聞

NO. 392
令和7年1月号

3学期スタート!

応援でき、

応援される

東中生

教頭

コロナ禍に東海中学校に赴任しました。生徒は、こまめな消毒・マスクの着用・ソーシャルディスタンスの保持・無言給食などをしなければならず、中止や削減する行事もありました。たださえ、生徒は思春期にあり、他者からどのように見られるかを気にし、自己表現しづらい年頃にあります。我々大人は、顔をマスクで覆い、目のみの生徒一人一人の心の内を察しなければいけない苦しい状態にありました。このような状況下で、放送で全校集会を行ったときに大変驚き、安堵したことを今でも覚えています。集会の中で、生徒の善行の姿が話題になったり、表彰をさせたりする場面がありました。すると、放送室から遠く離れたそれぞれの教室から大きな拍手が聞こえてきました。他のそうした姿を褒め称えられることは、なかなかできることではなく、大変感動しました。

また、授業で級友が自分の考えなどを発表したり、担任から頑張りを紹介されたりする際にも、自然と拍手が起ります。しかも、そのことが、年度

が替わっても続き、現在まで脈々と受け継がれています。そうした姿が、東中生の誇れることの一つだと思っています。

保健体育科で持久走の授業があり、今年も感心させられました。大半の人が避けたいのが持久走です。しかし、毎年東中では、速いとか遅いとか関係なく、全ての生徒が手を抜かず一生懸命走り、それを男女や学級関係なく、精一杯応援する授業が展開されています。

ある時、担任のA先生が、担当する学級の持久走の授業を職員室から見っていました。どの生徒も一生懸命走っていましたが、しばらくすると運動場へ出て行き、声援を送り始めました。授業が終わり、A先生に声をかけると、

「持久走の前に、生徒が、嫌だ、嫌だって言いながら出て行ったので…」とのことでした。

その他にもB先生は、持久走の授業を職員室から見ながら、

「頑張る生徒の姿を見て元気をもらっています」

と言われました。苦手なことにも一杯頑張る生徒がいてそれを一生懸命応援する人がいる。こうした姿に触れ、東中で勤務できることを誇らしく思います。

生徒には、在校中だけでなく、卒業後も、他を応援し応援される、そんな幸せな人生を歩んでほしいと願っています。

東海中PTAだより

東海中PTA
会報第227号

山中小学区紹介

一年生 保護者

山中小学区には、山中城址や鳩が窟など歴史を感じられる場所や、山中八幡宮や北山湿地に見られる様々な植物や生き物など自然豊かな場所があります。その中で、今回は「北山湿地」について紹介します。北山湿地は、池金町にある岡崎市内で一番大きな湿地で「日本重要湿地五百」にも選定されています。小さな沢がいくつもあり、木道が整備されています。種子落としマツトが設置されており、環境保全もされています。植物では、絶滅危惧植物が多数生育し、中でもオオミズゴケやヒナノシヤクジョウ等の湿地性植物が豊富です。動物では、ハツチヨウトンボやヒメタイコウチ、ギフチヨウが生息しています。

初めて北山湿地を訪れたとき、こんな身近に貴重な自然が見られる場所があることに驚きました。しかし、北山湿地が荒地になったことがあったそうです。専門家や市民ボランティアの協力を得て、現在の姿に回復したとのことでした。

多くの人の手で、このような環境が保全されていることを知り、その方たちの活動に感謝すると共に、学区の自然に目を向けることの大切さを感じました。北山湿地自然観察会が、春、夏、秋の三回開催されているそうです。ぜひ一度足を運んでみてください。



個性輝く文化祭

一年生 保護者

文化祭で吹奏楽部の演奏を聴き、心を打たれました。ソロ回しでは、完璧に演奏をこなす子もいれば、緊張からか音が少し詰まる子もいました。それでも、全員が一生懸命に取り組んでいる姿はとても印象的で、どの子もそれぞれに頑張っていることが伝わってきました。

私の息子は現在、不登校でその場にはいませんが、彼もまた自分のペースで前に進んでいます。完璧を目指して努力する子もいれば、思うようにできないことに悩みながらも力一杯頑張る子もいます。中には、学校には行けず、夢中になれることを探している子もいるでしょう。それでも、どれもがリアルな中学生の姿であり、その一つひとつの努力に心から共感します。

どんな形であれ、頑張る姿勢はとても素敵です。息子も、演奏を頑張る子たち、絵画や物作りに夢中に取り組む子。みんな応援したいと思います。どんな道を歩んでも、その努力が未来につながることを信じています。

文化祭で感じた子どもたちの成長

二年生 保護者

今年の中学校文化祭で行われた学年ごとの合唱発表は、どの学年も素晴らしい成長を感じさせてくれるものでした。一年生は初めての文化祭ということで緊張した様子もありましたが、仲間と協力して歌う姿に純粋さを感じられました。二年生は練習の成果がしっかりと表れ、安定した歌声で自信が伺えました。そして三年生は、最高学年として堂々とした立ち姿と力強い歌声

で、卒業を控えた感慨深さが伝わってきました。保護者として、子どもたちの成長と努力を感じ、文化祭という貴重な機会を通じて、子どもたちが自信を持ち、絆を深めていく姿を見守ることができて感動しました。これからも子どもたちが新たな挑戦を通してさらに成長していくことを楽しみにしています。



合唱コンクール

合唱コンクール審査結果

一年金賞	五組	空は今
銀賞	二組	マイバラード
銅賞	四組	大切なもの
二年金賞	三組	君とみた海
銀賞	二組	手紙〜拝啓十五の君へ
三年金賞	一組	Chessboard
銀賞	二組	証

各種大会記録

【第六回愛知県中学校新人陸上競技大会

男子陸上部

第六位 三年男子一〇〇m

【第五十八回全国野生生物保護活動発表大会

環境大臣賞

自然科学部



【日本学校合奏コンクール二〇二四

全国大会ソロ&アンサンブル

コンテスト

アンサンブル部門

優秀賞

ヴィブラフォン・マリリンバ二重奏

吹奏楽部

【愛知県アンサンブルコンテスト

西三河北地区大会

管打八重奏 金賞

管打八重奏 銀賞

吹奏楽部

【第七十六回岡崎市民駅伝競走大会

中学校男子の部

八位 東海中学校A

二十六位 東海中学校B

中学校女子の部

九位 東海中学校A

二十四位 東海中学校B

念願の全国大会

三年一組

夢にまで見た全国のステージはまぶしく輝いていました。三年間の集大成である舞台かと思うと、ますます私を緊張させました。

二年生の冬、打楽器アンサンブルに挑戦しました。しかし、満足のいく仕上がりににはできず後悔が残り続けました。

今年もう一度アンサンブルをやれると聞いて、より一層部活に力を入れました。曲を通してはできないところを何度も練習し完成度を高めました。

十月一日、先生から予選突破を告げられた瞬間、信じられなかったけれど、今までの努力が報われたような気がして本当に嬉しかったです。

本番では支えてくれた方々への感謝の気持ちを胸に精一杯演奏しました。私はあの五分間を一生忘れません。



人生で一度きり

二年四組

私は、全国大会の資料が通ったことを知って、びっくりしました。それからは、東京の環境省で行われる全国大会のために発表内容を考えたり、プレゼンの練習をしたりと、テスト週間までそれが続きました。

ついに本番。

発表が始まる何時間も前からずっと緊張していました。



発表の番が回ってきたとき、なかなか声を出せずにいましたが、勇気を出して、

「よろしくお願いします！」

と、声を出しました。その後、なんとか発表を終えることができました。

こんなことは、人生で一度きりだと思います。とてもよい経験をする事ができました。

未来へつなぐ櫂

三年四組

本宿小から三年生がやってきました。授業でカワバタモロコについて学習していて、授業の一環で自然科学部に話を聞きにきました。

正直、小学校生に僕の知識と想いは伝わるのか心配でした。しかし全員真剣に話を聞いてくれました。僕の発表は決して百点の発表ではありませんでした。しかし、想いは間違いないと確信できました。

自然科学部

の部員の想いは未来への櫂として伝わり、と信じています。



岡 特 交 流

心と心が通じあつたとき

一年五組

私にとつては小学校以来の交流でした。喜んでもらえる顔を想像しながら、チームで何度も話し合い、準備にはげみました。当日、不安はありましたが、話をする時は、ゆつくりと、分かりやすくすることを意識し、気が付けば親しい友達のように楽しい時間を過ごすことができました。お互い別れをさみしく感じました。特別扱いするのではなく、同じ気持ちになっているのだなと感じました。

校内書き初め会

一月七日の始業式の日に行き初め大会を行いました。一年生は「温故知新」、二年生は「信念を貫く」、三年生は「希望に輝く春」と書きました。各学年の金賞・銀賞受賞者です。

一年生金賞

- 一組
- 二組
- 三組
- 四組
- 五組
- 六組

一年生銀賞

- 一組

- 二組

- 三組

- 四組

- 五組

- 六組

二年生金賞

- 一組

- 二組

- 三組

- 四組

- 一組

- 二組

三年生金賞

- 一組

- 二組

- 三組

- 四組

- 五組

三年生銀賞

- 一組

- 二組

- 三組

- 四組

防災教育

休み時間における避難訓練

一月八日、昼休みに避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、いざというときに自分で自分の身を守ることができるよう、生徒には、二日間のうちどこかで行うことだけを予告した実践的な訓練でした。昼休みという自由に過ごす時間において、地震による火災が発生し、避難するとの想定でした。生徒は、周りの安全を確認し、火災発生場所を避けた経路を考えて避難するなど、落ち着いて行動することができました。

また、一部の教職員

は、火災発生場所にか
けつけ、水消火器を用
いて初期消火を行う
訓練も行いました。

本年度は、火災や地震における避難訓練だけでなく、不審者対応訓練や土砂災害における避難訓練など様々な想定のもと訓練を行ってきました。次年度も継続していきます。



教育随想

やまなみ

楽しい授業を楽しんで創る

研究主任

「授業研究とは、『教師が学ばせたいこと』を『子供が学びたいこと』に転化すること」と定義した先人がいる。授業研究について、今年度は昨年度以上に教師間で活発に意見交換する場が増えている。研究主任として心掛けていることは、「教師自身が授業準備と授業での生徒との時間を楽しむこと」である。授業者の教師が楽しんで創る授業でなければ、生徒にとつて楽しい授業は実現しない。実際に、職員室で楽しそうに授業の様子を口にする教師からは、楽しそうに学ぶ生徒のエピソードが語られる。翌日の授業の構想を楽しそうに話す教師の言葉を聞いてみると、私自身もその授業を受けたくなる。

東中生の学びに向かう姿は素晴らしい。互いを尊重し合つての質の高い議論や鋭い視点からの考察には目を見張るものがある。この恵まれた環境の中で、教師として今後も授業準備を楽しみ、授業時間を生徒と共に楽しみながら授業研究を進めていきたい。一日の学校生活の中で最も多くの時間を占めるのは授業時間である。楽しい授業が実現すれば、生徒にとっての学校生活は、さらに楽しいものになるはずだと信じている。